

衆議院補欠選挙（2019.4.21 投票）における漸進的教育無償化関連の公約一覧

（2019.4.21 作成）

選挙区	候補者氏名 *届出順 (所属等)	漸進的教育無償化・子育て・若者等に係る公約・マニフェスト等からの抜粋 *漸進的教育無償化に直接触れた事項を色文字&下線処理 (出典：ウェブにアップされた各候補者の「政策」等/それがない場合は選挙管理委員会「選挙公報」で補足)
大阪12区	藤田 文武 (維新・新)	<p>○政策#05 教育・子育て・労働・社会保障</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済格差が教育格差とならぬよう教育機会平等社会を実現する。 2. 教育予算の対GDP比を他の先進国並みに引き上げる。 3. 幼稚園や保育園をはじめ、全ての教育を無償化する。 4. 保育士給与の官民格差を是正し民間保育所の保育士の待遇を改善する。 5. 保育サポーター制度を導入する。 6. 労働市場のニーズを踏まえ、公的職業訓練を時代に即したのものに見直す。 7. 労働時間ではなく仕事の成果で評価する時間給から成果給へ。 8. 労働契約の終了に関するルールを明確化し、解雇紛争の金銭解決を可能にする。 9. 雇用の7割を担う中小企業の振興策を強化する。 10. 医療費に関わる消費税制の見直し。 11. 公的年金制度は払い損がなく世代間で公平な年金積立方式を導入する。 12. 高齢者の雇用を創出しつつ年金の支給開始年齢を段階的に引き上げる。 <p>(出典：「政策」 https://o-ishin.jp/policy/act05/)</p>
	宮本 岳志 (無・前)	<p>くらし守る政治を 10月からの消費税10%に反対します</p> <p>10月に予定されている10%への増税や混乱必至の「軽減」税率を中止して、国民の暮らしと営業、地域経済を守ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月からの消費税増税に反対 ・大学授業料の引き下げ、返済不要の奨学金の拡充を <p>(出典：「政策」 http://miyamoto-net.net/policy)</p>

<p>樽床 伸二 (無・前)</p>	<p>1. 人口減少の中で、活力ある「生涯現役社会」を 日本は世界に先駆けて超高齢者社会を経験するトップランナーです。人口減少に歯止めをかけ、少子高齢社会のモデル国家（生涯現役社会）として、世界をリードしていくことが、景気回復を実感し、社会保障費の増加を抑制することにつながります。 (出典：大阪府選挙管理委員会「選挙公報」 http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/35213/00320944/h31syuuhosennkyokouhou.pdf)</p>
<p>北川 晋平 (自民・新)</p>	<p>○子育て 「人生 100 年時代」を迎え、すべての国民が元気に活躍し続けられる社会を目指すため政府が掲げる「人づくり革命」。 その着実な推進のため、子育て支援を充実していきます。本年 10 月からの消費税率引き上げによる増収分を活用して 3 歳から 5 歳までのすべての子供と、所得の低い世帯の 0 歳から 2 歳までの子供を対象に、幼稚園や保育所などの無償化を実現。 また、待機児童ゼロの達成を目指して全力で取り組みます。</p> <p>○教育 学校教育においては、情報基盤を整備し、子供たち「1 人 1 台」の PC 等の設備の実現に向けて検討を加速させ、情報教育の充実を図ります。 また、外国語教育とともに、情報モラル教育なども推進いたします。 さらに、「人生 100 年時代」にふさわしく、誰もが学び直しできる環境を整備・充実させていきます。 (出典：「政策」 https://www.s-kitakawa.com/)</p>
<p>沖繩 3 区 屋良 朝博 (無・新)</p>	<p>重点施策 1. 児童保育を充実 沖繩の保育士は 3 年間で約 3000 人増加。効果は出ていますが、出生率全国 1 位の沖繩では申込数は増加し続け、特に 0～2 歳児の受け皿確保は急務です。</p> <p>重点施策 2. 中北部地域の夜間保育環境の整備 夜間に働くお母さん、お父さんを応援。県南部に比べ遅れている夜間保育の拡充で、安心して子どもを育て、いきいきと働ける環境を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの暴力、虐待を撲滅：千葉県小 4 女児虐待死は心が締付けられる悲劇です。沖繩でも生活した、小さな命を守れなかった制度上の不備をなくし、児童虐待防止法の成立と県独自の条例制定を。 ・社会発展を人への投資で：公共事業のために市町村が社会福祉や子育て支援などを削って裏負担と維持管理費を出す、これが貧困の問題の温床。振興策を人材育成、社会福祉にシフト。 ・障害児も地域の学校へ：離党生まれの身体障害児は親元を離れ、本島の支援学校に通うことも。本島でも毎日数時間もバスで登下

	<p>校することも。地域で育つ幸せを約束したい。 (出典：「政策」 http://yaratomo.com/policy.html)</p>
<p>島尻安伊子 (自民・新)</p>	<p>○「経済事情にかかわらず」充実した学びと育ちで全ての子ども達が希望に満ちた「やさしい沖縄」に 名護市（輝く名護市）＋北部地域（北部のハンデを強みに）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部地域ならではの子育て支援の充実 (北部全域を名護市同様、子どもの保育料及び給食費の無料化) ・名桜大学を軸とした教育改革と国立高専を発展させた工科大学の設置及び中高一貫校の設置 <p>(出典：「政策」 http://www.shimajiriiko.com/policy/)</p>